しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり市民会議
TEL：52-1275
FAX：52-1415
発行日
平成28年11月20日

汐風竹町フェスタ

10月9日、小名浜のまちとみなとを結ぶ汐風竹町通りで「汐風竹町フェスタ」が開催されました。これは過去3年、小名浜に避難された方々との交流を目的に開催された「小名浜絆まつり」を継承発展するもので、歩行者天国となった汐風竹町通りは、片や《新時代》を感じさせる電動立ち乗り二輪車『インモーション』の体験試乗、片や《昭和》を思い出させる竹馬やケンケンパーなどの昔遊び、というふたつの異なる時間が流れる不思議なタイムトンネルに姿を変えました。いまとむかしが緩やかに交錯する通りには、さんまのポーポー焼きなどの地元グルメの他、ピザやスイーツの店も並び、また、『アートスペースUDOK』に集う若きクリエイター達による写真展示会「リスポ古今写真館」や青空市「シオカゼマルシェ」も開催され、家族連れを中心に大勢の人で賑わいました。

10月全体会議

10月27日、小名浜まち中ステーションにおいて10月全体会議が開催されました。今回は、小名浜まちづくり市民会議副会長の鈴木泰弘氏が講師となり現地視察を行った小名浜の現状が説明されました。

その後、小名浜のグランドデザインの見直しを前提に本町通りの空き店舗をどうするか、まちなかの空き地をどうするか、定住人口をどうやって増やすか、小名浜のまちの重心はどの地域かをテーマにワークショップ形式で意見交換を行いました。各グループでは次世代の小名浜をより良いものにするために活発な意見交換がなされました。

いわき市市制施行50周年・小名浜港開港60周年　記念事業
酒場詩人「吉田 類」小名浜講演会 開催

BSテレビ【酒場放浪記】でお馴染みの、吉田 類さんが小名浜へやって来ます。

今井寿シェフによる福島県内の食材を使ったイタリアンを堪能しながら、吉田 類さんと素敵な時間を過ごしませんか。

前売券は11月1日より小名浜美食ホテルのみで販売します。

主催：小名浜「胃・飾・縦」プロジェクト実行委員会

お問合わせは
TEL0246－54－2890
まで。

日時　12月9日（金）18：00～
会場　小名浜美食ホテル　2号館 潮目交流館
参加費　10，000円（飲食付講演会）
※先着100名様

富ケ浦公園清掃

10月22日、小名浜富ケ浦公園にて小名浜まちづくり市民会議が中心となり、市民総ぐるみ運動に呼応した清掃活動が行われました。約30名の会員が参加し草刈機や熊手を駆使して、除草活動を中心に公園をきれいに蘇らせました。秋の入口としては涼しい日でしたが、参加者は汗をぬぐいながら活動にあたっていました。

しおかぜプロジェクト 発進!! Vol.2

福島ガイナックスが制作する小名浜を舞台としたアニメーションの制作が着々と進んでいます。

そこで気になるのが登場人物です。主役は一体どんな人物なのか少しご紹介します。

主人公は「星心平（ほししんぺい）」君。地元の高校生で正義感が強く曲がったことが大嫌い。大好物はカジキメンチカツというまさに小名浜の男の子の代名詞です。その主人公が攻めてくる敵に対し、駆逐艦『澤風・汐風』と出会い、小名浜を救うため力を合わせて戦っていきます。

震災の影響で小名浜と異界が繋がってしまったことから地球に新生物が侵攻してくるのを食い止めなければいけないのです。

小名浜に星心平というヒーローが現れ、澤風・汐風と共に自らの運命を変えていきます。小名浜に眠っている澤風・汐風はどのように復活するのか！それはまた次回ご紹介したいと思います。

To be continued…

▶写真の中の何かが重要なカギを握る？

リノベーションまちづくり

10月19日と20日の2日間、小倉の地を訪れリノベーションまちづくりで成果を上げている魚町商店街を視察してきました。この地域は小名浜まちづくり市民会議も目指している中心市街地活性化法の認定を受け、シャッター街となった商店街の空き店舗を新たな活用方法（リノベーション）で再生させている地域です。空き店舗を小さく区分し、宿泊施設やシェア型事務所として、あるいは起業を目指す技術者にそのプロダクツを販売するスペースとして安い賃料で貸与するなど商店街に変化をつけ賑わいを生み出していました。空き店舗という不動産を所有する人と、それを活用する人とに分けること。そしてその活用方法を地域以外のまちづくりに興味のある方を集めてアイデアを募り、優秀なアイデアを実現させていくという方法で取り組んでいるようです。この視察を小名浜のまちづくりにも活用していければと思います。

小名浜学事始め

『小名浜八景』

小名浜字古湊の「浄光院」（真言宗智山派）の境内に『小名浜八景』「諏訪晴嵐」「綱取秋月」「岬帰帆」「虎山晩鐘」「岡山暮雪」「大原落雁」「松之中夜雨」「照島夕照」』の碑があります。選者は元禄8年（1695）、江戸から磐城平・高月に移り住んだ内藤露沾（磐城平藩3代藩主内藤義概の二男）と伝えられています。浄光院の東側の高台には、延享4年（1747）以後は小名浜代官所が、以前は磐城平藩の小名浜御殿（藩主の休憩所）が置かれていました。露沾はここに立ち寄り、小名浜の景勝の各所を探訪したのではないでしょうか。虎山は浄光院、現在は夕方ではなく朝6時に鐘の音を聞くことができます。

▶平成9年建立『小名浜八景』の碑

めひかりの囁き

いわき花火大会がたくさんの方々に支えられて63回の開催を数えるようになったことは前回記しましたが、この花火大会を運営しているのは8つの委員会と事務局です。花火委員会、おどり委員会、海遊祭委員会、設営委員会、フォトコンテスト委員会、募金販促委員会、広報委員会、警備委員会がそれです。

今回から数回にわたり各委員会等の活動内容の一端をご紹介したいと思います。

始めに事務局ですが、この部所は実行委員会の総務を司ります。関係機関との打ち合わせ会議の日程調整や、その準備、各委員会の動きの調整、予算の作成とその実行管理等を各委員会と連携しながら進めています。3つのイベントの開催規模の大きさにより、関係する機関の数や予算額も大きく、提示すべき情報も多いことから、その取りまとめには時間がかかり、特に会議の数日前は、事務局メンバーのご苦労が忍ばれます。

（著：F・O）

―小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ―
11月全体会議を開催します

11月24日午後6時30分より、まちなかステーション小名浜3階において、11月全体会議を開催します。今回は「せんだいリノベーションまちづくり」を企画、推進している仙台市都市再生推進係の洞口文人氏を招きご講演をいただきます。すでに仙台市で展開されている「せんだいリノベーションまちづくり」の事例は、今後の小名浜のまちづくりにも大変参考になると思いますので会員の皆様はふるってご参加ください。

小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 いいね！ してね！

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費　個人会員：3,000円　企業会員：20,000円　団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：　いわき市小名浜字本町11-1（まちづくりステーション小名浜）
TEL: 52－1275　FAX: 52－1415
http://www.onahama.jp/　E-mail: info@onahama.jp

この広報物は、小名浜地区行政嘱託員（区長）連合会の御協力により配布しております。